

ひんやりと心地よい風が吹き、どこからか虫の声が響く季節となりました。秋ですね。食欲の秋、音楽の秋、スポーツの秋、勉学の秋・・・みなさんはどんな秋を楽しみたいですか。でもやっぱり、秋と言えば・・・『読書の秋』ですね！

27日からは読書週間も始まります。夏の暑さも過ぎ、朝晩は特に過ごしやすいこの季節こそ、読書の時間を楽しんでくださいね。

図書委員 今月のオススメ

1年A組



ホームレス中学生をおすすめします。
ホームレス中学生は とても切なくて、友情深い物語です。
また、いま身につけているくつ、服、いろんな物の
ありがたみや、大切さが再確認できる、とても
熱い本です。

ヒロシ(主人公)のお母さんも素晴らしい人だったり、
人間にもこんな素晴らしいところがあるんだ、
ととも思えます。

1度読んだ事がある人も、
読んだ事がない人も、
ぜひ読んでみてください。

1年H組



僕が紹介するのは、森見登美彦さんが書いた「有頂天家方」です。この本は冬舎文庫さんが出版しています。「面白きとはよきことなり」が口癖の狸の名門下鴨家の三男、矢三郎。宿敵である夷川家が幅を利かせる京の町を一方策の誇りをかけて、兄弟たちと馬区け回る。が家族はへなちょこばかりです。人間たちと狸と天狗の三つ巴。化けて、馬鹿してからが、狸達の無茶苦茶な日常茶飯事。最初の言葉から最後の言葉まで色々な事を考えさせられます。僕が一番心をうたれたのは牛物語の最失三郎が人間である昇天に初語で「あなたは何を願うの」と聞かれたときに言った言葉です「たのしく生きる他に成すべきものはない。狸たちよ一切の希望を捨てよ。残る狸に程々の栄光あれ」です。皆さんも必ず、心にしみる言葉があるはずです。ぜひ読んでみてください。

タイトル「蘇える変態」 著者/星野源 出版社/マガジンハウス

内容

この本は、俳優、歌手、執筆者などいろいろな肩書きをもつ

星野源(ほしのげん)さんのエッセイ本です。

仲間外れにされたりするのが怖くて好きなものを好きに言えず、周りと一緒になって人を馬鹿にしてしまった学生時代、耐えられなくなり「好き」を爆発させた日、現場での共演者とのやりとり、そして突然の入院生活...

星野さんはどのようにして闘病生活をのりきったのか、...などなど

星野源さんの考えや生き方をのぞけるよう1冊になっています。

さらにさらに、自身が生み出してきた曲についてもいろいろ知ることが出来ます！

<感想>

笑いあり感動ありで最高でした!!
"ヘンタイ"な星野源さんの考え方がいっぱいには
数えきれなくて面白いです!!!!

2年G組



みんなの夢 夢みるため

1年A組

著: やなせたかし、ちばてつや、西原理恵子、
里中満智子、吉田敦史、NHK取材班
NHK出版



著者であるやなせたかしさんは国民的アニメ『アンパンマン』をつくった人です。新刊、一度は聞いたことがあるであろう『アンパンマン』という歌の作詞をしていました。私たちに、身近な存在であるこれをつくらせたやなせたかしさんについて書かれているのが、私がおすすめする『みんなの夢 夢みるため』です。

やなせたかしさんは2013年10月13日に永眠されました。この時、94歳でした。アンパンマンはやなせたかしさんが50歳のころに書きはじめました。最初のアンパンマンはパイマン、はくばマン、カレーマン、ドーナツマンなどのモンスター達がいました。でも、アンパンマンシリーズは徐々に怪獣が出てくるようになったり、アンパンマンはやなせたかしさんの中でどのような存在になったり...

『みんなの夢 夢みるため』この本を読むことでその全てを知ることが出来ます。

本を読んだことのない人もぜひ読んでみる本なのでぜひ読んでみてください。図書館にもおいてあります。



9月の図書館利用状況

1年生	2年生	3年生	合計
54人	50人	161人	265人

1年生の利用者が増えてきたようです。もうすぐ中間テストが始まります。自習のための机も常設してあるので、マナーをしっかりと守って、試験勉強にぜひ利用してくださいね。

